

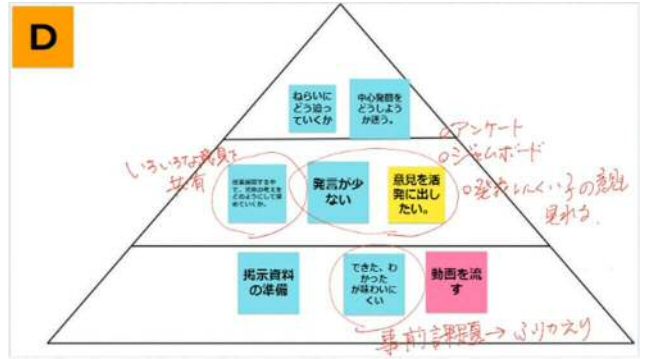
# 子どもたちが ICT 端末を「毎日使う」環境づくりを

## ～GIGA スクール時代のクラウド活用講座～

GIGA スクール構想開始から 2 年目を迎え、全国的には導入段階から活用へと移行する中、島根県内でも児童生徒 1 人 1 台端末の配付や通信速度の増強が進み、子どもたちがクラウドを使いこなせる環境が整ってきました。そこで、今年度の情報教育に関わる研修では、体験を通して ICT 端末活用の肝であるクラウドのよさを捉えていただくことを第一に考えてきました。

10 月から 11 月にかけて行った「GIGA スクール時代のクラウド活用講座」では、体験を通して捉えたクラウドのよさを、授業づくりにおける課題の解決に活かさないか、グループで協議し発表・共有しました。受講者からは「クラウドを活用することで授業での課題となっていたことに対応できる可能性があることに気づいた。」「クラウドを活用したグループ活動は有用である。」といった声が聞かれました。

子どもたちの生活や学習をよりよくするために使ってほしい ICT 端末。まず目指すのは子どもたちが「毎日使う」段階です。毎朝ログインし、タイピング練習、紙のドリルが終わったらデジタルドリル、アンケートフォームで授業の振り返りなど、学校全体で子どもたちが毎日取り組める環境づくりから始めてみませんか。



## 新学習指導要領実施のための授業改善に、先生方と共に取り組みたい

令和 3 年度から令和 5 年度までの悉皆研修となっている「新学習指導要領実施のための高等学校授業改善研修」を、今年度は、国語科・地歴公民科・数学科・理科・外国語科・芸術科(美術・書道は今年度のみ)・保健体育科・家庭科・情報科・産業教育科において開催しました。県内外からの講師や指導主事による講義や実践紹介、演習等を通して授業改善に向けた研修を行いました。出席された先生方からは、「学習評価や ICT の活用の仕方など、困っていることや不安に感じていることを共有できて良かった。」などの感想が聞かれました。とくに、「指導と評価の一体化」のための「観点別学習状況の評価」については、これから授業実践を蓄積し、県内の先生方で共有する必要性を強く感じました。3 年間の悉皆研修の最後となる次年度に向けて、先生方と一緒に取り組んでいきたいと思えます。

